

国の登録有形文化財(建造物)に「水田家住宅」と「大信寺本堂」

加西市にある2カ所(5件)の建造物が国登録文化財として登録される運びになりました。平成22年3月19日に国の文化審議会が文部科学大臣に登録するよう答申。これまで市内では3カ所(11件)が登録されています。



水田家住宅(4件:主屋・書院・内蔵・北蔵/北条町横尾)
大正11(1922)年に建てられた主屋は、旧丹波往来に面する木造2階建の入母屋造り。1階西側は座敷で前面に格子を備え、2階は漆喰で塗り込められ、屋根の東西端に装飾と防火を兼ねた袖卯建を設置。旧街道の面影を感じさせる町家建築です。



大信寺本堂(北条町北条)
弘化2(1845)年建立。深くせり出した庇を支える組物が建立当時のまま残り、礼拝を行う外陣と本尊を安置する内陣の間に段差がない造りが特徴。標準的な浄土宗本堂で、幕末らしい内部構成が見られます。貞享3(1686)年、小田原藩領になった際、城主大久保氏の菩提寺となりました。

■加西市指定文化財に指定

加西市教育委員会は3月19日、文化財の保護のため、次の2件の物件を市指定文化財に指定しました。



阿弥陀如来坐像

所在地/金剛院
(上万願寺町)
像高/85.5cm
材質/木造
製作年代/平安時代後期
作者名/不明

指定理由/奥行きのある頭体と穏やかで円満な容姿ならびに浅く整えられた衣文表現などから観て平安後期の作風を示しています。左胸や右肩の肉身部を袈裟が大きく覆い、翻波式衣文の名残がみられることから古様もしくは地方作の様式と思われます。後補の部分は目立ちますが、当市における優品です。



不動明王立像

所在地/個人所蔵
(西長町)
像高/89.1cm
材質/木造
製作年代/平安時代後期
作者名/不明

指定理由/図像的に近い像としては、滋賀・神照寺像(県指定文化財)や東京国立博物館像(重要文化財)があげられ、本像はこれらに次ぐ古い像と考えられます。定型化する以前の個性的で優れた不動明王像です。

【問合せ先】 自己実現サポート課 ☎428773 FAX431803 koryu@city.kasai.lg.jp



ふるさと納税は加西市に

市外に住まれている加西市出身の方、加西市にゆかりのある方、ふるさと納税(ご寄付)をお願いします。ご寄付の手続きや特典などについては市ホームページをご覧ください。お問い合わせ下さい。

問合せ先 財政課 ☎0790 ④8710

さくら草(坂本町)

● 加西市ホームページ <http://www.city.kasai.hyogo.jp>

● 加西市の市外局番は0790です。誌面では省略しています。

発行/加西市
〒675-2395 加西市北条町横尾1000番地 ☎0790④1110(代)
編集/加西市経営戦略室 ☎0790④8700 FAX0790④1800